2026年11月18日
ロッテバイオロジクス

ロッテバイオロジクス、松島バイオキャンパス竣工式を開催

～K-バイオの新たな時代の幕開け～

- **松島（ソンド）バイオキャンパス第1工場の竣工式を開催、年間12万リットルの生産能力を持つバイオ医薬品製造体制を確立**
- **大規模な生産インフラと米国での事業運営経験を強みに、グローバルCDMO市場での競争力強化へ**

ロッテバイオロジクス（本社：韓国仁川（インチョン）市、共同CEO：ジェームズ・パク、重光聡）は18日午前10時、仁川市・松島バイオキャンパス内のイベントホールにて、第1工場の竣工式を開催しました。

当日は、ロッテグループ会長の重光昭夫、ロッテバイオロジクス共同CEOのジェームズ・パク、重光聡をはじめ、パク・チャンデ仁川市長、ソン・ヨンギル国会議員（仁川延寿区甲）、チョン・イルヨン国会議員（仁川延寿区乙）、保健福祉部のチョン・ギョンシル保健医療政策室長をはじめ、国内外から約300名の来賓が出席しました。また、ハン・ソンスク国務総理からもビデオメッセージにて祝辞が寄せられました。

竣工式は記念映像の上映と国民儀礼に続き、開会挨拶、歓迎の辞、会社紹介映像および祝賀映像の上映の順で進行しました。その後、主要来賓による祝辞と竣工記念セレモニーが行われ、出席者は松島バイオキャンパス第1工場の主要施設を視察しました。

ロッテバイオロジクスの共同CEOジェームズ・パクは、「松島バイオキャンパス第1工場は、当初の計画より6カ月前倒しで商業生産に向けたGMP適合基準での稼働準備を完了しました。これは全従業員の努力と献身によって実現した成果であり、グローバル市場でさらなる飛躍を遂げるための確固たる成長基盤となります」と述べました。さらに、「『完璧さへの飽くなき追求と生命への真摯な思い』という新たなミッションのもと、患者の健康と人類のより良い暮らしに貢献する企業へと成長していまいります」と語りました。

続いて、同社共同CEOの重光聡は、「松島バイオキャンパスの竣工は、新たな生産施設の完成にとどまらず、韓国バイオ産業の大規模生産能力の向上にロッテバイオロジクスが貢献できる基盤を整えたという点で、大きな意義があります」と述べました。また、「『次世代CDMOの新たなスタンダード』という新たなビジョンのもと、確かな品質、技術、信頼を強みに、長期的な視点で顧客とともに歩むCDMOパートナーを目指してまいります」と強調しました。

さらに、ロッテグループ会長重光昭夫は、「バイオ事業はロッテグループの将来の成長エンジンであると同時に、韓国の次世代を担う産業であると捉えています」と述べ、「松島バイオキャンパス第1工場が、ロッテグループの成長にとどまらず、韓国バイオ産業の競争力を一段と高める重要な転換点となることを期待しています」と語りました。続けて、「松島を中心に質の高い雇用を創出し、優秀なバイオ専門人材を育成するとともに、政府や関係機関、顧客企業、パートナー企業との緊密な連携を通じて、国内バイオ産業の発展と国家競争力の強化に貢献してまいります」と強調しました。

映像による祝辞では、ハン・ソンスク国務総理が「ロッテバイオロジクスの松島第1工場は、未来を見据えたロッテグループの果敢なバイオ産業投資が結実した最初の成果であり、韓国バイオ産業に新たな活力をもたらすものと考えています」と述べました。また、「松島が世界的なバイオ医薬品製造拠点へと成長する上で、ロッテバイオロジクスが重要な役割を担うことを期待しています。松島バイオクラスターの中核として、K-バイオの飛躍を牽引していくことを期待しています」と語りました。

パク・チャンデ仁川市長は、「今年4月、仁川市長選挙の候補者としてロッテバイオロジクスの建設現場を訪れ、仁川バイオ産業のビジョンを発表しましたが、その現場が実際の生産施設として完成した姿を見ることができ、大変感慨深いものがあります」と述べました。さらに、「ロッテバイオロジクスの松島第1工場は、仁川がグローバルバイオ産業の中心都市へと飛躍する上で重要な資産となります。仁川が有する研究開発・人材育成基盤と、ロッテバイオロジクスのグローバルな生産能力が相乗効果を生み、バイオ産業の競争力向上につながることを期待しています」と語りました。

2024年3月に着工したロッテバイオロジクスの松島バイオキャンパス第1工場は、延床面積9万9,558㎡の規模で建設され、2026年6月に使用承認を取得しました。製造棟、ユーティリティ棟、福利厚生棟、排水処理施設などの主要施設を備え、年間12万リットルのバイオ医薬品生産能力を確保しています。

使用承認の取得後は、設備適格性評価やバリデーションなど、商業生産に向けた準備手続きを進めており、これらを経て2027年に本格的な商業生産を開始する計画です。ロッテバイオロジクスは、松島バイオキャンパス第1工場の竣工により、米国シラキュースに続き、韓国国内にも大規模な生産拠点を確保しました。これを機に、韓国と米国の両生産拠点を連携させた事業戦略を本格化させ、グローバルCDMO市場におけるプレゼンスの拡大を目指す方針です。

■ ロッテバイオロジクスについて
ロッテバイオロジクスは、バイオ医薬品の開発および製造を専門とするグローバルなCDMO専業企業です。米国ニューヨーク州シラキュース・バイオキャンパスと韓国の松島(ソンド)バイオキャンパスという米韓でのデュアルサイト戦略を活用することで、生産能力と運用柔軟性を更に向上させます。これにより、変化するグローバルサプライチェーンの動向に対応し、一貫性と信頼性の高い製造ソリューションを提供していきます。 ロッテバイオロジクスは、承認された拡張

的な生産能力と大規模な製造体制を強みに、臨床開発から商業化対応まで、統合された一気通貫のサービスを通じて、製品の全ライフサイクルにおけるクライアントの支援に尽力してまいります。